

めあて：①の場面を読んで、松井さんの人がらを考えよう。

1 白いぼうし 教科書16ページ～17ページを声に出して2回読もう。

☆読むときのポイント：かぎかっこ 「がたくさん出てきます。」

松井さん、お客のしんしのどちらの言葉なのかをよく考え、なりきって読もう。

①の場面を整理しよう。

いつ 今日（六月）のはじめ 場所 タクシー（中）のこと。

お客のしんしの言った言葉を写そう。

「これは、レモンのおいですか。」

「ほう、夏みかんでのは、こんなににおうものですか。」

「ほう、ほう。」

松井さんの言った言葉を写そう。また、その時の松井さんのようす

「いいえ、夏みかんですよ。」 「・・・」 「ブレーキ」をかけてから、「ここに」して答えた。

「もぎたてなのです。きのう、いなかのおふくろが、速達で送ってきました。」

「においまでわたしにとどけたかったのでしょう。」

「あまりうれしかったので、いちばん大きいのを、この車にのせてきましたよ。」

夏みかんについてまとめよう。

・だれが送ってくれましたか。（松井さんのお母さん） 「いなかのおふくろ」

・どんな方法で送られてきましたか。（速達）

・どうして、その方法で送ってきたのでしょうか。

（においまでとどけたかったから。）

・タクシーの中には、いちばん（大きい）夏みかんをのせてきた。

それは、どうして？（あまりにもうれしかったから。）他に、お客さんにもおいをかいでほしかったからなど

◎松井さんの人がらを考えましょう。教科書①の場面で、松井さんはどんな人か、人がらがわかる場所に線を引いてみましょう。

◎線を引いたところから、松井さんの人がらをまとめてみましょう。

ここにこして答えたから、松井さんは、

やさしそうな人だと、思いました。

きげんのよい人

車に夏みかんのせているから、松井さんは、

楽しそうな人だと、思いました。

親しい人・話ずき

ブレーキをかけてから答えた

から、松井さんは、

気づばりのできる人だと、思いました。

☆先生が考えた松井さんです。これがすべてではありません。松井さんが温かい人がらであることがわかればいいです。